

郡山市におけるごみ焼却施設から排出されるCO₂を活用した 資源循環及び脱炭素化の推進に関する連携協定締結のお知らせ

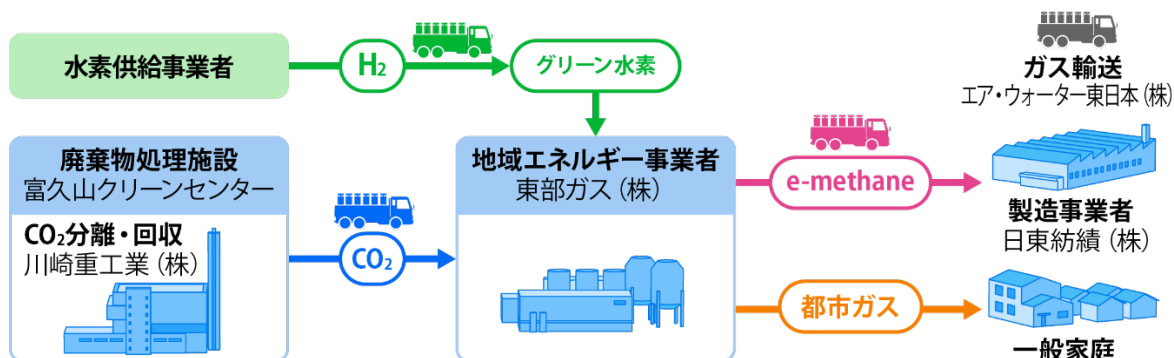
当社は、福島県郡山市と川崎重工業株式会社、エア・ウォーター東日本株式会社、東部ガス株式会社と、郡山市ごみ焼却施設（富久山クリーンセンター）の排ガスからCO₂を分離・回収し、さらに燃料化して地域で循環活用できる炭素循環事業モデル構築に向けた取り組みに関する連携協定を締結しました。なお、本件は令和7年度環境省委託事業「郡山市における廃棄物処理施設を中心とした炭素循環事業モデル構築のためのCCUベンチスケール実証等事業」※1により実施するものです。

CO₂は地球温暖化の要因の一つとされており、その対策として注目されるのが「CCUS（Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage）」です。CCUSの導入を促進し脱炭素社会を実現するためには、より省エネルギーで効率的なCO₂分離・回収技術の確立が求められています。

本実証事業では、川崎重工業が開発した固体吸収材を用いた省エネルギー型CO₂分離・回収システムである「Kawasaki CO₂ Capture (KCC)」※2を用いたCO₂の分離回収に関する技術的な検証を行い、そこで得られた知見を連携協定における取り組みに活用するとともに、ごみ焼却施設でのCO₂分離・回収を社会実装した際の運用面等での課題を抽出し、その解決に向けた検討を行います。

当社は、回収したCO₂の一部に対しグリーン水素を用いてメタネーション処理を行って生成したe-methaneを産業分野の観点から評価を行い、利用する役割を担います。e-methaneは日東紡富久山事業センターで運用している貫流ボイラで活用し、工場への供給蒸気形で熱利用を行うことを構想しています。

今回の連携協定を地域と連携したカーボンニュートラル社会の実現の重要なステップと位置づけし、当社は郡山市、川崎重工業、エア・ウォーター東日本、東部ガスとともに、2026年度以降の本モデル事業の実施に向けて活動していきます。



※1：令和 7 年度廃棄物処理施設を活用した炭素循環事業モデルの構築に向けた CCU ベンチスケール実証等事業の採択について（2025 年 7 月 8 日付）

https://www.env.go.jp/press/press_00181.html

※2：川崎重工業の CO₂分離回収技術について（KCC の詳細）

<https://www.khi.co.jp/energy/co2sr/>

【参考リンク】郡山市月例市長会見資料（2025 年 7 月 25 日付）

<https://www.city.koriyama.lg.jp/uploaded/attachment/107299.pdf>



以上

■ 本件に関するお問い合わせ先

日東紡 コーポレート・コミュニケーション部

03-4582-5040 ir@nittobogrp.com